

みなさん、こんにちは。いかがお過ごしでしょうか？
さて、皆さんの住まいはどんな環境にありますか。
誰もが閑静な住宅街や自然に囲まれた静かな場所に住めればよいのですが、必ずしも好環境に住めるとは限りません。また、外を気にせず家で音楽や映画を存分に楽しみたいという方も多いと思います。
今回は「音」のお話。「音」の伝わり方と特徴、そして気になる生活音を上手くコントロールする方法をご紹介します。



●騒音と音の特徴

誰しも一度は「音」で悩んだ経験があるかと思います。外のクルマの音で会話が遮られた…。電車の音がうるさくて寝つけない…。また楽器の音や子供の騒ぐ声など自分の家から出た音で、ご近所に迷惑をかけているのではないかと心配になること、あると思います。

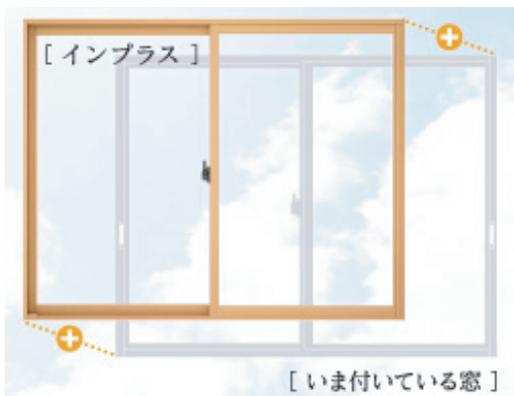
下の表は一般的な騒音感覚を表したもので、室内・室外と問わず音の大きさのみで比較しています。

dB (A)	身近な環境	外からの音 (30m)
100	電車のガード下	新幹線の騒音
90	地下鉄(車内)	電車の騒音
80	幹線道路の交差点	犬の鳴き声(近所)
70	街頭	交通量の多い道路の騒音
60	デパートの中の普通の会話	主要道路の騒音
50	静かな教室・事務所	↑↓ 60dB未満が 好ましいレベル
40	図書館・静かな公園	

表中では、60デシベル未満が好ましい騒音レベルとなっていますが、普段家の中で生活するには40デシベル未満が理想的です。しかし、実際は一日の中で騒音の変化もあり、家そのものの立地条件にもよるので、良い環境を常に保つのは難しいのです。

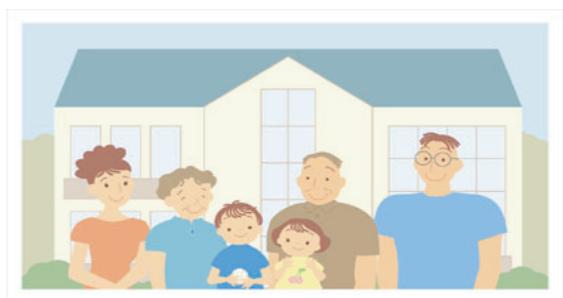
騒音は、単に気分を不快にするだけではありません。生活騒音によって、心理的不快感がつると、イライラしたり気分が落ち着かなかったり、そのような状態が続くと、睡眠障害や難聴、集中力や認知力の低下といった病レベルにまで達してしまいます。たかが音ですが、されど音。快適で健康に住まうために、あきらめないで少し工夫してみませんか？

●「音」を軽減して快適生活を



防音率をアップさせるなら、サッシの隙間を埋めると良いでしょう。ホームセンター等で簡単に手に入るスポンジやモヘアを使うと手軽にできます。また、厚手のカーテンに換えるだけでも効果があり、最近では防音カーテンといったものも販売されています。ただ、もっと根本的に騒音・遮音対策をしたいとお考えの場合、窓に手を加える方法がいくつかあります。例えば、今の窓を防音効果の高い窓に交換する方法はかなり有効です。ただ工事の際に壁や床を一部壊さなくてはならないので、工期が長くなり、費用も高額でなかなか大変。またマンションですと、窓は共有財産になりますので、窓の交換には管理組合等の許可が必要です。

最近浸透してきているのは、「窓の内側にもう1枚窓を取り付けて二重窓にする」方法です。二重窓は高い防音・遮音効果で音の出入りを防ぐだけでなく、遮熱や結露においても大変評価の高い窓です。当社でもリフォーム商品として取り扱っており、工事も1日で終わるので、防音・遮音・結露対策をご検討のお客様はぜひ一度ご相談ください。



TOYAスマイル倶楽部事務局
今治市玉川町中村甲677-7
有限会社十弥工務店内
TEL (0898) 36-8182 FAX (0898) 36-8183
E-mail : toya-info@toya.co.jp
URL : http://www.toya.co.jp